

注 意 事 項

1 試験開始時刻 12時40分

2 試験科目数別終了時刻

科目数	1 科目	2 科目	3 科目
終了時刻	13時20分	14時00分	14時40分

3 試験科目別の問題数(解答数)及び試験問題ページ

科目	問題数(解答数)					試験問題ページ
	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	
電気通信技術の基礎	4	5	4	4	4	W-1~4
端末設備の接続のための技術	5	5	5	5	—	W-5~8
端末設備の接続に関する法規	5	5	5	5	—	W-9~12

4 受験番号等の記入とマークの仕方

- (1) マークシート(解答用紙)にあなたの受験番号、生年月日及び氏名をそれぞれ該当枠に記入してください。
- (2) 受験番号及び生年月日に該当する箇所を、それぞれマークしてください。
- (3) 生年月日の欄は、年号をマークし、生年月日に1けたの数字がある場合、十の位のけたの「0」もマークしてください。

[記入例] 受験番号 01W9211234

生年月日 昭和50年3月1日

受 験 番 号									
0	1	W	9	2	1	1	2	3	4
●	○	P	○	○	○	○	○	○	○
1	●	Q	1	1	●	●	1	1	1
2	○	R	2	●	2	2	●	2	2
3	○	S	3	○	3	3	3	●	3
4	○	T	4	○	4	4	4	4	●
5	○	U	5	○	5	5	5	5	5
6	○	6	○	○	6	6	6	6	6
7	●	7	○	○	7	7	7	7	7
8	○	8	○	○	8	8	8	8	8
9	○	9	○	○	9	9	9	9	9

生 年 月 日									
年 号	5	0	0	3	0	1			
平成	○	●	○	○	○	○			
昭和	1	1	1	1	1	1	○		
大正	2	2	2	2	2	2	2	○	
	3	3	3	3	3	3	3	3	○
	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	9	9	9	9	9	9	9	9	9

5 答案作成上の注意

- (1) 解答は、別に配付するマークシート(解答用紙)の該当欄の正解として選んだ番号マーク枠を、**黒の鉛筆(HB又はB)**で濃く塗りつぶしてください。
 - ① ボールペン、万年筆などでマークした場合は、採点されませんので、使用しないでください。
 - ② 一つの問いに対する解答は一つだけです。二つ以上マークした場合、その問いについては採点されません。
 - ③ マークを訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してください。

(2) 免除の科目がある場合は、その科目欄は記入しないでください。

(3) この問題用紙に記入しても採点されません。

6 合格点及び問題に対する配点

- (1) 各科目の満点は100点で、合格点は60点以上です。
- (2) 各問題の配点は、設問文の末尾に記載してあります。

マークシート(解答用紙)は、絶対に折り曲げたり、汚したりしないでください。

次ページ以降は試験問題です。試験開始の合図があるまで、開かないでください。

受 験 番 号 (控 え)									
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

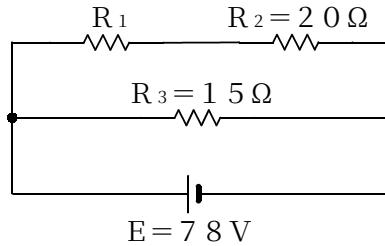
(今後の問い合わせなどに必要になります。)

電気通信技術の基礎

第1問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計20点)

- (1) 図－1に示す回路において、抵抗 R_1 に加わる電圧が18ボルトのとき、 R_1 は、(ア) オームである。ただし、電池の内部抵抗は無視するものとする。(5点)

① 2 ② 6 ③ 8 ④ 12 ⑤ 20



図－1

- (2) 図－2に示す回路において、交流電流が4アンペア流れているとき、この回路の端子a－b間に現れる電圧は、(イ) ボルトである。(5点)

① 5.6 ② 7.8 ③ 8.0 ④ 9.6 ⑤ 11.2



図－2

- (3) 平行電極板で構成するコンデンサの静電容量を大きくする方法の一つに、(ウ) がある。(5点)

- ① 電極板の金属を変える方法
 ② 電極板の面積を小さくする方法
 ③ 電極板間に誘電率の値が大きい物質を挿入する方法
 ④ 電極板の間隔を大きくする方法

- (4) R オームの抵抗に I アンペアの電流を t 秒間流したときに発生する熱量は、(エ) に比例する。(5点)

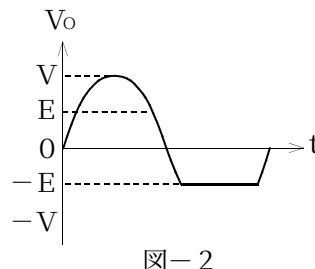
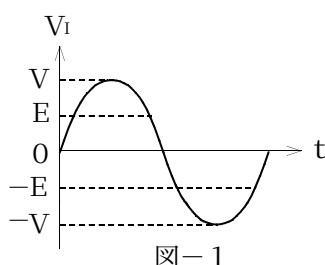
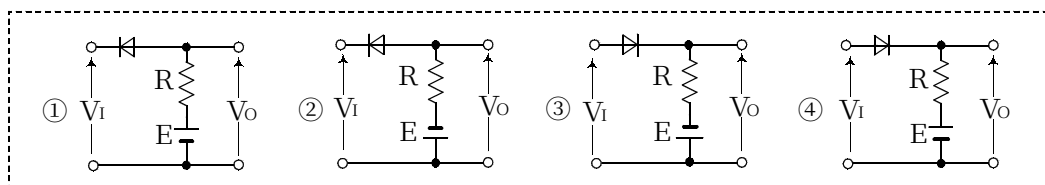
① IRt ② I^2Rt^2 ③ IRt^2 ④ IR^2t ⑤ I^2Rt

第2問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計20点)

- (1) 4価のシリコン真性半導体に、ドナーとして5価のリンを微量加えると共有結合により自由電子が発生する。自由電子をキャリアに用いる半導体は、(ア) 形半導体といわれる。(4点)

① N ② O ③ P ④ T

- (2) 図-1に示す波形の入力電圧 V_I を (イ) に示す回路に加えると、出力電圧 V_O は、図-2に示すような波形となる。ただし、ダイオードは理想的な特性を持ち、 $|V| > |E|$ とする。 (4点)



- (3) トランジスタのエミッタ接地増幅回路における (ウ) 電流とベース電流の比は、直流電流増幅率といわれる。 (4点)

① エミッタ ② ゲート ③ コレクタ ④ カソード

- (4) 定電圧ダイオードは、ツェナーダイオードともいわれ、ダイオードに (エ) の電圧を加え増加させていったとき、ある電圧値以上で電流は急激に増大するが、そのときの端子電圧は一定に保たれる。 (4点)

① 順方向 ② 逆方向 ③ パルス状

- (5) トランジスタ等のバイアス回路は、動作点の設定を行うために必要な (オ) を供給する回路である。 (4点)

① 交流電流 ② 直流電流 ③ バイパス信号 ④ 入力信号 ⑤ コレクタ電圧

第3問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。 (小計20点)

- (1) 10進数の116を8進数に変換すると (ア) になる。 (5点)

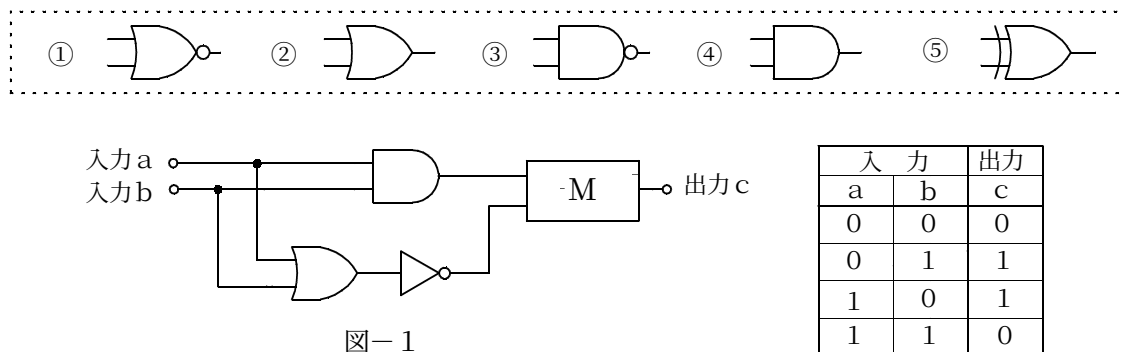
① 107 ② 136 ③ 164 ④ 172 ⑤ 274

- (2) 次の論理関数 X は、ブール代数の公式等を利用して変形し、簡単にすると、 (イ) になる。 (5点)

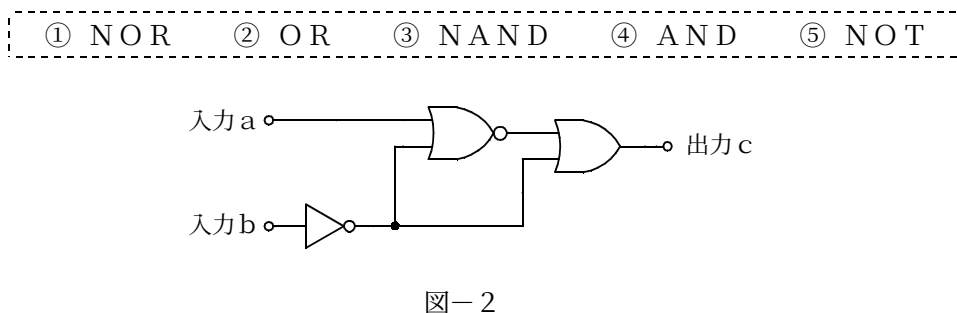
$$X = A \cdot (A + \overline{B}) + \overline{A} \cdot \overline{B}$$

① A ② $A \cdot B$ ③ $\overline{A} \cdot \overline{B}$ ④ $A + B$ ⑤ $A + \overline{B}$

- (3) 図－1の論理回路において、Mの論理素子が **(ウ)** であるとき、入力a及び入力bの論理レベルと出力cの論理レベルとの関係は、右の真理値表で示される。(5点)

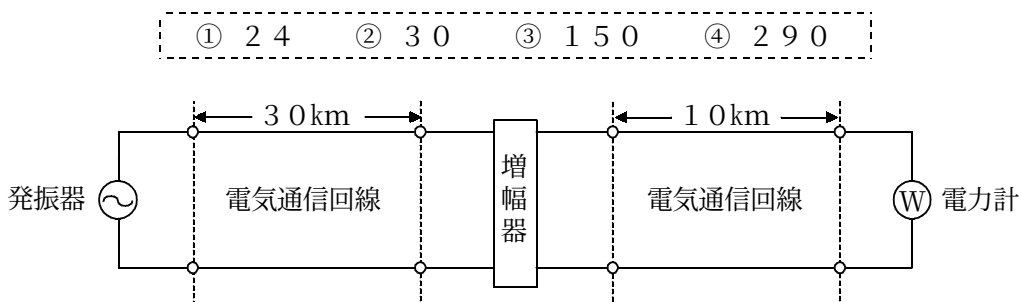


- (4) 図－2の論理回路は、入力a及び入力bの論理レベルと出力cの論理レベルとの関係から、**(エ)** 回路に置き換えることができる。(5点)

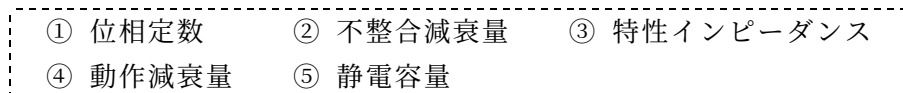


第4問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計20点)

- (1) 図に示す電気通信回線への入力電力が300ミリワット、その伝送損失が1キロメートル当たり0.8デシベル、増幅器の利得が22デシベルのとき、電力計の読みは、**(ア)** ミリワットである。ただし、入出力各部のインピーダンスは整合しているものとする。(5点)



- (2) 通信線路の特性は、使用される往復導体の単位長当たりの抵抗とインダクタンス、漏れコンダクタンス及び **(イ)** の四つの要素によって決まるが、これらの四つの要素は、線路の1次定数といわれる。(5点)



- (3) 特性インピーダンスが Z_1 の通信回線に負荷インピーダンス Z_2 を接続する場合、 Z_1 と Z_2 の関係が **(ウ)** のとき、接続点での反射による伝送損失はゼロになる。(5点)

① $Z_1 = \frac{1}{Z_2}$ ② $Z_1 = \frac{Z_2}{2}$ ③ $Z_1 = Z_2$ ④ $Z_1 = 2Z_2$

- (4) 伝送路の両端に接続した端末装置の入出力インピーダンスがすべて等しいとき、送信側の端末装置の出力電力と受信側の端末装置の入力電力との比が4であれば、これらの出力電圧と入力電圧の比は、 **(エ)** である。(5点)

① $\frac{1}{4}$ ② $\frac{1}{2}$ ③ 1 ④ 2 ⑤ 4

第5問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計20点)

- (1) 振幅変調によって生じた上側波帯と下側波帯のいずれかを伝送する方法に使用される変調方式は、 **(ア)** 変調方式といわれる。(5点)

① DSB ② SSB ③ VSB

- (2) 複数電話回線の音声信号を周波数分割方式により多重化するには、各電話回線の音声信号をそれぞれ異なった周波数の搬送波を **(イ)** する必要がある。(5点)

① コード化 ② 同調 ③ 離調 ④ 変調

- (3) 音声信号をPCM方式を用いて伝送する場合、PCM信号の元の音声信号は、PCM信号を復号して **(ウ)** 信号に戻したパルス列を、低域フィルタに通して取り出すことができる。(5点)

① PAM ② PPM ③ PNM ④ PWM ⑤ PTM

- (4) 光ファイバ伝送方式では、搬送波のスペクトラムに幅があるので、光を **(エ)** 変調することにより信号を伝送する方法が一般的である。(5点)

① 周波数 ② 強度 ③ 位相

端末設備の接続のための技術

第1問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) データ伝送におけるベースバンド信号のうち、パルス長が符号のビット時間長より短く、パルスと次のパルスの中で一度0電位に復帰する伝送路符号形式は、 (ア) 方式といわれる。(5点)

① 正電位 ② RZ ③ 0反転 ④ NRZ ⑤ 負電位

- (2) データ伝送において、ビット伝送する信号の名称、その信号の送受信順序などの論理的条件や信号線のインピーダンス、出力電圧などの電氣的条件は、OSI参照モデルの (イ) 層で規定されている。(5点)

① 物理 ② データリンク ③ ネットワーク
④ トランスポート ⑤ セッション

- (3) 端末Aと端末Bが通信するときの通信方式に関する次の二つの記述は、 (ウ)。(5点)
A 端末Aと端末Bが送信又は受信の片方向の通信を交互に行い、その結果として両方向の通信を行うのは、半二重通信方式といわれる。
B 端末Aと端末Bが同時に送信と受信の両方向の通信を行うのは、全二重通信方式といわれる。

① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

- (4) データ伝送において、キャラクタを構成する複数のビットを時系列上で1ビットずつ順次伝送する方式は、 (エ) 伝送方式といわれる。(5点)

① 単流 ② 複流 ③ 相互変調 ④ 並列 ⑤ 直列

- (5) 公衆パケット交換網には、パケット形式を送受信できるパケット形態端末と電文形式で送受信する一般端末を収容できる。一般端末を収容するには、パケット網側で準備する (オ) を介して網に収容する。(5点)

① モデム ② スプリッタ ③ ゲートウェイ ④ PAD ⑤ DSU

第2問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) ISDN基本ユーザ・網インタフェースの参照構成は、NT1、NT2、TA、TE1及びTE2の機能群並びにS、T及びRの参照点で構成される。S点とT点が一致する場合には、この一致点をS/T点というが、これは機能群の (ア) が存在しない状態である。(5点)

① NT1 ② NT2 ③ TA ④ TE1 ⑤ TE2

- (2) ISDNサービスのうち、 サービスは、下位層だけでなく、上位層のプロトコルまで規定されたサービスのことで、端末機能までを含んだ完結したサービスとなっている。(5点)

- (3) ISDN基本ユーザ・網インタフェースのレイヤ1では、複数の端末が一つのDチャンネルを共有するため、Dチャンネルへの正常なアクセスを確保するための制御手順として、 が規定されている。(5点)

- (4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースに関する次の二つの記述は、。(5点)
A Dチャンネルは、呼制御信号の転送及びパケット交換方式によるユーザ情報の転送に用いられる。
B ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおけるインタフェースの構造は、B+Dである。

- (5) ISDN基本ユーザ・網インタフェースに関する次の記述は、 が正しい。(5点)

第3問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

- (1) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおける の特徴の一つにバス配線上の複数端末を識別する機能があるので、端末を同一バス配線上の他のジャックへ移動しても、通信を行うことができる。(5点)

- (2) 公衆データ回線交換網やパケット交換網を対象としたXシリーズインタフェースを有する端末をISDN基本ユーザ・網インタフェースの参照点S/Tに接続するためには、プロトコル変換などを行う が必要である。(5点)

(3) ISDN基本ユーザ・網インタフェースに関する次の二つの記述は、**(ウ)**。(5点)

- A 同一インタフェース上で呼ごとに回線交換かパケット交換かを選択できる。
B 同一インタフェース上に複数の端末を収容することができ、個々の端末は独立に通信を行うこともできる。

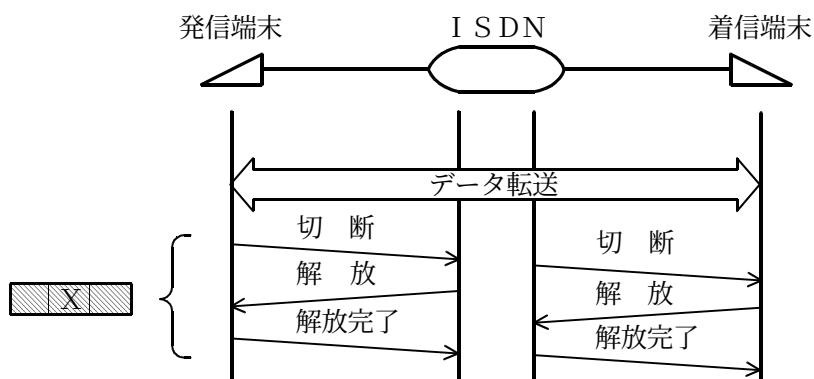
① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおけるデータリンクには、ポイント・ツー・ポイントリンクとポイント・ツー・マルチポイントリンクの2種類がある。これに対応して、情報転送に際しては、**(エ)**の二つの情報転送モードのどちらかで行われる。(5点)

- ① 確認形と非確認形 ② ポーリングとセレクトイング
③ シリアルとパラレル ④ シングルリンクとマルチリンク
⑤ コマンドとレスポンス

(5) 図は、ISDN基本ユーザ・網インタフェースの回線交換呼に対する基本呼制御シーケンスの一部分を示したものである。図中のXの部分のシーケンスは、**(オ)**チャンネルを使用して通信が行われる。(5点)

- ① 64キロビット/秒のB ② 32キロビット/秒のB
③ 64キロビット/秒のD ④ 32キロビット/秒のD
⑤ 16キロビット/秒のD



第4問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 通信機器の接地には、雷サージ等から機器を守るための強電用接地や機器の **(ア)** 等を目的とした弱電用接地などがある。(5点)

- ① 動作安定 ② 誘導 ③ 混線防止 ④ 漏電による感電防止

- (2) 屋内配線には、心線が対より構造で、漏話雑音、誘導雑音等に対する電気的特性が優れている対形屋内線のほか、心線が平行構造で、ラミネートシースを採用することにより電気的特性の向上を図った **(イ)** 等が使用されている。 (5点)

① 2対カッド形PVC屋内線 ② 通信用フラットケーブル
③ 2心並列PVC屋内線 ④ 同軸ケーブル

- (3) 各種配線を床内配線できるようにする管路設備で、600ミリメートル間隔で配線引出口があり、任意に配線を引き出すことができるものは、一般に、 **(ウ)** といわれる。 (5点)

① ワイヤプロテクタ ② 可とう管 ③ フロアダクト
④ セルラダクト ⑤ フリーアクセスフロア

- (4) ISDN基本ユーザ・網インタフェースにおけるDSUは、通常、ユーザ宅に設置され、時分割方向制御伝送(TCM)方式による2線のメタリックケーブルを終端している。また、保守用の機能として、端末側か網側かの故障を切り分けるための試験 **(エ)** などの機能を有している。 (5点)

① 通 話 ② ループ ③ ローディング ④ 発 信 ⑤ 給 電

- (5) TTC標準JT-I430における宅内配線構成では、2対(4線)のメタリックケーブルを用いたバス配線を基本とし、バス上にJISで決められている8端子のインタフェースコネクタを取り付けるが、ファントムモードの給電には、インタフェースコネクタの端子(コンタクト)番号 **(オ)** 番が使用される。 (5点)

① 1と2 ② 1と8 ③ 2と6 ④ 3と4と5と6 ⑤ 7と8

端末設備の接続に関する法規

第1問 次の各文章の 内に、それぞれの「」の解答群の中から、「電気通信事業法」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 次の記述のうち、誤っているものは、 (ア) である。(5点)

- ① 電気通信とは、有線、無線その他の電磁的方式により、符号、音響又は影像を送り、伝え、又は受けることをいう。
- ② 電気通信役務とは、電気通信設備を用いて他人の通信を媒介し、その他電気通信設備を他人の通信の用に供することをいう。
- ③ 電気通信設備とは、電気通信を行うための機械、器具、線路その他の電氣的設備をいう。
- ④ 自営電気通信設備とは、第一種電気通信事業者が設置する電気通信設備であって、端末設備以外のものをいう。

(2) 次の二つの記述は、 (イ) 。

- A 第一種電気通信事業は、電気通信回線設備を設置して電気通信役務を提供する事業である。
- B 第一種電気通信事業者とは、第一種電気通信事業を営むために総務大臣の許可を受けた者、特別第二種電気通信事業者とは、特別第二種電気通信事業を営むために総務大臣の登録を受けた者をいう。

- ① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(3) 次の二つの記述は、 (ウ) 。

- A 電気通信回線設備とは、送信の場所と受信の場所との間を接続する伝送路設備をいい、交換設備及びこれらの附属設備は含まない。
- B 事業用電気通信設備とは、第一種電気通信事業者及び特別第二種電気通信事業者がその電気通信事業の用に供する電気通信設備をいう。

- ① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(4) 端末設備とは、電気通信回線設備の一端に接続される電気通信設備であって、一の部分の設置の場所が (エ) の設置の場所と同一の構内(これに準ずる区域内を含む。)又は同一の建物内であるものをいう。(5点)

- ① 自営電気通信設備 ② 配線設備等 ③ 共用する部分 ④ 他の部分

(5) 次の二つの記述は、 (オ) 。

- A 工事担任者は、端末設備又は自営電気通信設備の接続の工事の実施又は監督の職務を誠実に行わなければならない。
- B 工事担任者資格者証の種類及び工事担任者が行い、又は監督することができる端末設備若しくは自営電気通信設備の接続に係る工事の範囲は、総務省令で定める。

- ① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

第2問 次の各文章の 内に、それぞれの の解答群の中から、「工事担任者規則」(これに基づく告示を含む。)及び「端末機器の技術基準適合認定及び設計についての認証に関する規則」並びに「有線電気通信法」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 次の二つの記述は、 (ア)。(5点)

- A 技術基準適合認定を受けた端末機器をプラグジャック方式により電気通信回線設備に接続するときは、工事担任者を要する。
- B 海事衛星通信の用に供する船舶地球局設備に接続する端末設備を電気通信回線設備に接続するときは、工事担任者を要しない。

① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(2) 次の二つの記述は、 (イ)。(5点)

- A デジタル第3種工事担任者は、デジタル伝送路設備に端末設備を接続するための工事(接続点におけるデジタル信号の入出力速度が毎秒192キロビット以下のものであって端末設備に収容される電気通信回線の数1のものに限る。)を行い、又は監督することができる。
- B デジタル第3種工事担任者は、端末設備に収容される電気通信回線の数1のものをアナログ伝送路設備に接続するための工事を行うこと、又は監督することができない。

① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(3) 工事担任者は、資格者証を汚し、破り、又は失ったために再交付の申請をしようとするときは、所定の様式の申請書に (ウ) を添えて、総務大臣に提出しなければならない。(5点)

- ① 当該資格者証の写し又は住所及び氏名を記載した書類
- ② 当該資格者証の写し又は氏名及び生年月日を記載した書類
- ③ 当該資格者証又は試験に合格した日若しくは養成課程を修了した日を証明する書類
- ④ 当該資格者証又は住民票の写し若しくは氏名及び生年月日を証明する書類

(4) 技術基準適合認定を受けた端末機器には、その旨を表示する必要がある。電話用設備に接続される端末機器に表示する認定番号の最初の文字は、 (エ) である。(5点)

① A ② B ③ C ④ D

(5) 総務大臣は、有線電気通信設備を設置した者に対し、その設備が政令で定める技術基準に適合しないため他人の設置する有線電気通信設備に妨害を与えると認めるときは、その妨害の防止又は除去のため必要な限度において、その設備の (オ) その他の措置を命ずることができる。(5点)

- ① 修理又は取り外し ② 使用の停止又は改造、修理
- ③ 設計の変更又は改造 ④ 使用の制限又は停止

第3問 次の各文章の 内に、それぞれの「」の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) 次の二つの記述は、 (ア)。(5点)

A 電話用設備とは、電気通信事業の用に供する電気通信回線設備であって、主として符号又は映像の伝送交換を目的とする電気通信役務の用に供するものをいう。

B 総合デジタル通信端末とは、端末設備であって、総合デジタル通信用設備に接続されるものをいう。

- ① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(2) 利用者の接続する端末設備は、事業用電気通信設備との責任の分界を明確にするため、 (イ) との間に分界点を有しなければならない。(5点)

- ① 自営電気通信設備 ② 無線呼出用設備
③ 事業用電気通信設備 ④ 有線電気通信設備

(3) 次の二つの記述は、 (ウ)。(5点)

A 端末設備は、自営電気通信設備から漏えいする通信の内容を意図的に識別する機能を有するものでなければならない。

B 端末設備は、事業用電気通信設備との間で鳴音(電氣的又は音響的結合により生ずる発振状態をいう。)を発生することを防止するために総務大臣が別に告示する条件を満たすものでなければならない。

- ① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

(4) 通話機能を有する端末設備は、 (エ) 中に受話器から過大な音響衝撃が発生することを防止する機能を備えなければならない。(5点)

- ① 通話 ② 自動再発信 ③ 可聴音の確認 ④ 電気通信回線の接続

(5) 絶対レベルとは、一の皮相電力の1ミリワットに対する比を (オ) で表したものをいう。(5点)

- ① 絶対値 ② 相対レベル ③ デシベル ④ 不要送出レベル

第4問 次の各文章の 内に、それぞれの「」の解答群の中から、「端末設備等規則」に規定する内容に照らして最も適したものを選び、その番号を記せ。(小計25点)

(1) アナログ電話端末の基本的機能と発信の機能に関する次の二つの記述は、 (ア)。(5点)

A アナログ電話端末の直流回路は、発信又は応答を行うとき閉じ、通信が終了したとき開くものでなければならない。

B 発信に際して相手の端末設備からの応答を自動的に確認する場合にあっては、電気通信回線からの応答が確認できない場合選択信号送出終了後3分以内に直流回路を閉じるものでなければならない。

- ① Aのみ正しい ② Bのみ正しい ③ AもBも正しい ④ AもBも正しくない

- (2) 自動再発信(応答のない相手に対し引き続いて繰り返し自動的に行う発信をいう。)を行う場合(自動再発信の回数が15回以内の場合を除く。)にあっては、その回数は最初の発信から3分間に 回以内でなければならない。この場合において、最初の発信から3分を超えて行われる発信は、別の発信とみなす。ただし、火災、盗難その他の非常の場合にあっては、適用しない。(5点)

- (3) アナログ電話端末の選択信号が押しボタンダイヤル信号である場合、その信号の周期は、 ミリ秒以上でなければならない。(5点)

- (4) 直流回路を開いているときのアナログ電話端末の直流回路の直流抵抗値は、 メガオーム以上でなければならない。(5点)

- (5) 直流回路を開いているときのアナログ電話端末の直流回路の電氣的条件等に関する次の二つの記述は、。(5点)

A 直流回路と大地の間の絶縁抵抗は、直流200ボルト以上の一の電圧で測定した値で1メガオーム以上でなければならない。

B 呼出信号受信時における直流回路の静電容量は、3マイクロファラド以下であり、インピーダンスは、75ボルト、16ヘルツの交流に対して2キロオーム以上でなければならない。